



山形県知事  
吉村 美栄子

**対** 話ある県政がモットーの吉村知事。「今までは市町村ミーティングという形をとり、県内35市町村それぞれに暮らす皆さんと意見交換をしてきた」。そう話す吉村知事が足りないと感じられたのは「日中働いている現役世代」との対話。より多くの県民との対話を大切にする吉村知事だからこそ、このミーティングは開催されました。「何のシナリオもない、金山に住み、働いている方と一緒に課題解決をしたい。そのためにも、金山町の現状やご自身の夢を、遠慮せずに話してほしい」



(株)大商金山牧場  
「米の娘家」マネージャー  
伊藤 隆太

吉村  
知事



金山  
若者

## 農業×魅力の発信



ホテルシェーネスハイム金山  
副支配人  
庄司 大寛

と吉村知事が冒頭に話されると、参加者の皆さんも笑顔に。緊張も少しほぐれたところでミーティングはスタートしました。

**か** ねやま餃子を通して、農産物を中心とした金山の美味しいものを多くの人に知ってもらいたい」と夢を語るのは(株)大商金山牧場「米の娘家」マネージャーの伊藤さん。金山に住んで半年、美味しいものがたくさんあることに驚いているそうです。そのひとつが(株)エヌシップの生産する「かまくら野菜」。季節限定で、かねやま餃



(株)エヌシップ  
(農)えぬふあーむ 代表取締役  
長倉 直人



読み聞かせサークル  
「きつねのボタン」  
高橋 秀子

子の材料にも採り入れられました。その他にも「達者de菜」として有名なニラや、丹精込めて育てあげられた金山牛など、金山を代表する農産物の若き担い手も、このミーティングに参加。皆さん、中長期的なビジョンを持って営農に取り組む一方で、同世代で農業を営む人が少ないことなど、課題も抱えていました。

吉村知事からは「農業は成長産業であると考えます。まずは魅力を伝え、評判をつくるのが大事。例えば、かねやま餃子を『ホテルシェーネスハイム金山』で提供すれば、町外からの宿泊



山形牛肥育農家  
加藤 優志

## 女性×地域づくり



JA金山勤務  
和太鼓サークル「響華」  
栗田 紋花

客にも知ってもらおう機会になるのでは」と具体的なアドバイスがありました。

**4** 名の女性もこのミーティングに参加。町外から金山に嫁いだ阿部さんは「最初は雪の多さにびっくりした」と苦笑いを浮かべるも「クロスカントリースキー」などを通して、子ども達の成長がみられる」と金山に来て知った雪の良さを話します。吉村知事は「雪はマイナス面だけでない。県としても雪で商売ができる環境を整えていきたい」と前向きな意見。また、読み聞かせサークル「



(農)金山ドリームファーマーズ所属  
阿部 直



## 知事と若者の地域創生ミーティング in 金山町

5月9日、吉村美栄子山形県知事が金山町を訪れ、「知事と若者の地域創生ミーティング in 金山町」を開催しました。これは吉村知事と若者たちが、膝を突き合わせて対話を行い、明日の地域創生を考えることを目的に実施したものです。今年度から始まったこの事業は県内35市町村中、実は金山町が初めての開催。金山に暮らし、働く若者たちの真っすぐな「声」を紹介します。

※敬称略(次ページから)





福祉・介護関係勤務  
渡部 雅人

という意見には「今後このメンバーで何度も顔を合わせることで生まれるものもあるはず」と吉村知事は「縁」の大切さを話されていました。この出会いが、多くの人と人を繋ぎ、観光面だけでなく多方面で活かされていくのだと思います。

それから、男女の出会いに関する意見も出されました。「少子化に歯止めをかけるため結婚しやすい環境を」と町では今年度「かねやま大楽校」を開校。これは自分磨きが主な目的。あえて婚活という言葉を使わず、気楽に通える場所にしたいと考えます。

## 若者×出会い



自営業  
(酒屋・コンビニエンスストア)  
伊東 光春

吉 村知事は結びに「皆さんとお会いして、生の声を聞くことができてよかった。しかし本番はこれから。皆さんが有機的に関連して、相乗効果を生んでいくことが大切。そのきっかけとなればよい」と話され、今後の活動に期待されていました。

この日、皆さんが交わし合った考えや想い。「円」だった会場内には、目には見えない「線」がいくつも生まれたのではないのでしょうか。「これからの金山はわたし達で創っていくんだ」。金山の若者一人ひとりが、こう想い続けることがとても大切なのです。



自営業 (原木輸送業)  
柿崎 源太



金山町森林組合  
大沼 杏奈



自営業  
(住宅サッシ・リフォーム工事業)  
早坂 和弥



金山町森林組合  
高倉 智

きつねのボタン」と和太鼓サークル「響華」は、ともに女性を主体とする地域の団体です。「実はメンバーには中学生もいる。地区行事での演奏を通して、町民の方々に顔を覚えてもらえるのはうれしいとの話。今後も積極的に活動していきたいので、オフアールを待ちしている」と話すのは、響華に所属する栗田さん。地域と関わることの喜びについて話していました。きつねのボタンの読み聞かせも、子ども達に大人気で地域づくりに一役買っています。

女性のチカラは地域において必要不可欠。今以上に、そのチ

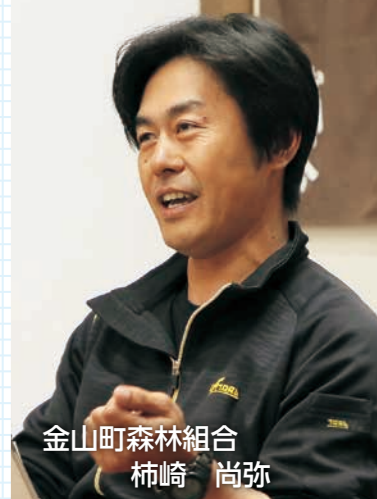
## 林業×カッコイイ

カラを存分に発揮できる金山になることを願います。

林 業関係者として、金山町森林組合からは4名が出席。口々に出るのは「後継者がいない、賃金が低い」など林業を取り巻く問題。「山から木を伐りだす人、それを運ぶ人、大工さん、建具屋さんなど、林業にも様々な職種がある」。話すのは森林組合に25年勤務する柿崎さん。「実はその中でも製材所はあまり日の当たらないところ」とベテランだからこそ分かる現状を話します。そのう



金山町森林組合  
大場 洋介



金山町森林組合  
柿崎 尚弥

えで「魅力の伝え方次第で後継者はついてくると思う。例えば、林業を積極的に体験させてみたらどうか」と前向きな意見が出されました。それに対して、吉村知事は「製材部門も欠かせない工程。実際林業の現場では、ものすごくハイテクな機械を使って伐採したり、製材している。そういう現場の良いところを見せ、PRすることはとても大事なことだ」と後押ししました。

金山町と林業は切っても切れない関係。「林業ってカッコイイ」を合言葉に、林業の魅力を発信していくことが、後継者不足な

## 観光×人をつなぐ

ど業界の諸問題を解決させる第一歩になるのかもしれない。

U ターンやターソンされた方もミーティングに参加。昨年度まで地域おこし協力隊として活動し、この春起業した菅谷さんは、現在谷口がこそばを運営。「来店していただいたお客様に金山の観光地をよく聞かれる。金山の場合、街並みなどは案内人や詳しい案内板がないと、本当の良さは伝わりづらいと感じる」と菅谷さんは観光面での課題を話します。続けて「町の若い人向けに集まれる場所がほしい」



あべちあき設計室  
阿部 千晶



ボランティア団体  
wageスターズ 代表  
三浦 祐真

## 『知事のほのぼのの訪問』 下野明地区 明日を語る お茶の会



この日吉村知事は、町内の企業と高齢者団体をご訪問されました。「いきいき企業訪問」では、山形アキレスエアロン(株)の工場内部をご見学。「ほのぼのの訪問」では下野明地区 明日を語る お茶の会の皆さまと交流されました。どちらもフレンドリーに触れ合う姿が印象的。皆さまにとって、またとない吉村知事との交流に笑顔があふれていました。

## 『知事のいきいき企業訪問』 山形アキレスエアロン株式会社

